

宮城大学 後援会報

Vol.59

発行
令和4年8月31日
発行者
〒981-3298
県黒川郡大和町学苑
宮城大学後援会
TEL022(377)838
編集
城大学後援会事務



主催事業 M・Y・U サポートーズディイ
学生の発表に感激し、

発表に感激し 就活のサポート方法を学んだ

後援会理事 高橋 かおり



3年ぶりに開催された「MYUサポート」ブザイは、6月18日(土)と25日(土)、大和・太白両キャンパスにて3学群合わせて200名を超える参加があり大盛況となりました。

両キャンパスにおいて、それぞれの学群紹介、最近の就職活動等に関する説明があり、大学の先生方がしっかりとサポートしてくださいさつしていることがわかり安心しつゝ、母の私たちもそのことを知ることで、声掛けをしながら応援できることを具体的に学びました。3年の夏頃からのインターナンシップへの参加が大事なことやエントリーシートをしっかりと書けるようにしなければならないこと、自分の考え方や意見をうまく表現できるようになります。学生には初志を忘れず自分の可能性を信じ、限界を設けずチャレンジしてほしいと思います。

「センキヨ割・i n多賀城市」プロジェクトの取り組み、防火防災に関するVR（仮想現実）やAR（拡張現実）等の技術を利用したデジタルアート作品の企画・制作等、素晴らしき驚き感動しました。

会の取り組みも、熱意が伝わり素晴らしいかったです。コロナに負けず、楽しい学生生活を送るための立て直しがから総会の開催までのと同好会を分ける等ルーサークル紹介の立派な活動によりよく活動するため激しました。



学生による大学生
活についてのプレゼンも
わかりやすく素晴らし
かったです。研究内容
やゼミ、サークル活動
やボランティア活動等、
頑張っていることがよく
わかりました。藤崎と

送るための立て直しが必要で、規約の改正から総会の開催までの一連の流れ、サークルと同好会を分ける等ルールを徹底していくサークル紹介の立派な冊子もわかりやすく、よりよく活動するための前向きな姿勢に感激しました。



卷之三



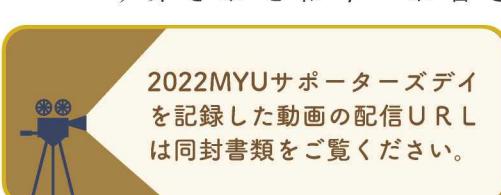
學生發表（上文）

ただきました。

この事業は、大学との共催で、会員の意見を大学の教育事業や後援会の助成事業に反映させていくことを目的に開催しているものです。大学の理解を深めていただく貴重な機会であることから、これからも内容の充実を図りながら開催していく予定です。今後も是非ご参加ください。より多くの会員の皆様の参加をお待ちしております。

メールアドレス URL ください。

2022MYUサポートーズデイ
を記録した動画の配信URL
は同封書類をご覧ください。



2面 ● 会長あいさつ／役員紹介
3面 ● 学長あいさつ／後援会 R3事業報告と決算／
後援会 R4事業計画と予算

記事
一覽

4面 ● 入学式／入学者数／コンポケーションディ
5面 ● 学びの場 図書館
6面 ● コラム／絆

7面●卒業式／学生表彰／進路
8面●教員からの一言／キャンパスカレンダー／
講演会について／お問い合わせ／編集後記

第13代会長に 小林英樹 氏

—歴史ある後援会の事業を継承しつつ、

時流に即した支援を検討したい—

後援会会長 小林 英樹

令和4年4月の総会で後援会会長を務めさせていただきました。

コロナ禍前であれば入学式の直後に総会を開催しておりましたが、昨年同様、時期を変えての開催となりました。大学側の感染対策コードを徹底のうえ、宮城大学大和キャンパス講堂で、開催することが出来ました。

総会終了後には初の試みとして「ミニキャンパスツアーコロナ」と言われる時代に「w i t h コロナ」を企画し、参加された会員の皆様には学生生活を過ごす施設を見学して頂きました。

移行し、規模の縮小や感染症対策などの徹底などの制限の下ではございますが、行政のイベントや伝統文化活動など社会活動の再開が徐々に進んできております。

早いもので今年度も4か月が経過いたしまして、後援会主催事業「M Y U サポートアーズデイ」を大和・太白の両キャンパスにて実に3年ぶりに開催することができました。

学群企画では、学生がコロナ禍という厳しい状況にもかかわらず対応し、つらい経験の中でも楽しさを見出して行動する姿やコロナ禍で機能が停滞し

ていた学生会の再生について発表されておりました。まさに大学での教育効果を体現しているような報告に感心いたしました。

後援会は、大学の教育活動を援助し、大学の発展に寄与することを目的として宮城大学開学の翌年に設立され、来年25周年を迎えます。

後援会では、学生が充実した大学生生活を送れるよう、学生会・サークル活動・大学祭への助成、就職対策支援、入学・卒業記念品の配布、資格取得状況に応じた奨励金の支給などを行っております。また、会員の皆様向けには先日のサポートアーズデイのほか、秋には著名人を招いての講演会を地域の皆さんも招待し、開催する予定としております。

令和4年度より大学のカリキュラム改革が行われ、新しい基盤教育科目がスタートしています。起業家精神を養い、A I やビックデータ、I O Tなど社会の変革に対応できるような人材育成、グローバルな人材育成を強化するカリキュラム。後援会の支援も時代の変化に応じて進めていくことが求められています。



歴史ある後援会の事業を継承しつつ、時流に即した支援の方法を、大学との意見交換や学生の意見を聞きながら、何ができるのか、役員一同、理事会で充分に議論し検討していくたいと思います。その為にも是非、後援会主催事業に多くの会員にご参加頂き、そして感じたことやご意見をお寄せいただきたいと思っております。

これからも会員皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

令和4年度 後援会役員

1年間どうぞよろしくお願ひします

| 役職 | 氏名 |
|-----|---------|
| 会長 | 小林 英樹 |
| 副会長 | 遠藤 美千代 |
| 副会長 | 遠藤 雄二 |
| 理事 | 大野 健一 |
| 理事 | 石塚 雄一 |
| 理事 | 尾形 文男 |
| 理事 | 黒森 陽一 |
| 理事 | 坂下 智 |
| 理事 | 理佐 竹加代子 |
| 理事 | 佐竹 孝エ |
| 理事 | 佐竹 章子 |
| 理事 | 大坊 友寿 |
| 理事 | 高橋 明子 |
| 理事 | 高橋 かおり |
| 理事 | 田口 恵 |
| 理事 | 岡勢 子 |
| 理事 | 宮永 紀子 |
| 理事 | 百武 誠二 |
| 監事 | 佐藤 功太郎 |
| 監事 | 下山 晴朗 |
| 監事 | 千葉 清純 |

(敬称略)



会長 小林 英樹

社会人に求められる精神やスキル

公立大学法人宮城大学理事長兼学長 川上 伸昭

アントレプレナー(entrepreneur)というフランス語起源の単語をご存知でしょうか。これを辞書で引くと、まず、「起業家」という意味に行き当たります。そして、アントレプレナーシップ(entrepreneurship)は「起業家精神」と解説されることがよくあります。起業、すなわち会社を作つて新しい事業を始めるというと、多くの人にとっては縁遠いことと思われがちですが、企業に就職したとしても、今や企業は同じ製品やサービスを提供し続けることだけでは生き残ることはできず、社員に対して新製品の開発、新業態への進出など新しい取り組みを求めることは常にあります。こういったときに受け身ではなく、自ら積極的に行動して成果を出して行くことができれば職場で高い評価を得ることになるはずです。こういったことからアントレプレナーシップは起業家にとどまらず、すべての社会人にとって成功につながる普遍的な精神やスキルであると言えます。

もともと宮城大学は地域社会が求める新しいタイプの専門知識を持つた人材を育てるのを目標として開学しました。このため本学の卒業生は社会の開拓者としての期待を担うこととなり、アントレプレナーシップは宮城大学では常に意識され、取組がされてきました。さらに5年前には、宮城大学は東北大学などとともに、文部科学省が進める「次世代アントレプレナー育成事業」の助成を受けることになり、5年間をかけてアントレプレナー教育プログラムの開発をしてきました。今年度導入した新しいカリキュラムでは、この成果を活かして全学群1年次の選択科目の一つに「アントレプレナー基礎」を開講することとしました。早速1学年の学生約80名が履修を開始し、さらに奈良県立大学にも開放したところ奈良県立大学からも約10名の学生が受講を開始しています。様々なアントレプレナーの経験を聞き、デザインシンキングを養う演習が進行しています。今後、受講の成果が表れていくことを楽しみにしています。



令和4年度事業計画・予算（令和4年4月16日総会決議事項）

| 令和4年度 事業計画 | |
|------------|--|
| 内 容 | |
| 総会 | 4月 年6回 |
| 理事会 | 学生代表との意見交換会（キャンパス毎） 会長副会長会議 年6回 |
| 特別委員会 | 記念事業検討委員会 年4回 |
| 学生会活動助成 | 執行部、新入生歓迎会、サークル、大学祭、ガーデンキャンパス |
| 支援事業 | 資格取得奨励金支給 進路対策事業支援 留学生住宅総合補償金一部助成 |
| 入学記念事業 | 新入生へ記念品（校章ピンバッジ）配付 |
| 卒業記念事業 | 卒業生（学群生）へ記念品贈呈 卒業生から大学への寄贈品助成 卒業記念パーティ一部費用助成 |
| 主催事業 | MYUサポーターズデイ（キャンパス毎） 講演会 |
| 終身会員の集い | 第3回 |
| 会報発行 | 第59号・第60号 |

| 令和4年度 一般会計予算 | | |
|--------------|------------|--------------|
| 項 目 | 決 算 額 | 備 考 |
| 収 会費 | 17,800,000 | 新入生・終身会員 |
| 入 繰越金 | 7,617,162 | |
| 計 | 25,417,162 | |
| 支 事務費 | 2,870,000 | 人件費、通信費等 |
| 支 会議費 | 500,000 | 費用弁償費等 |
| 支 事業費 | 12,986,000 | 学生会活動助成等 |
| 支 入学記念事業費 | 404,800 | 入学記念品（校章バッジ） |
| 支 卒業記念積立金 | 2,200,000 | 卒業生記念品 |
| 支 記念事業等積立金 | 2,000,000 | |
| 支 目的積立 R3 | 3,000,000 | |
| 支 予備費 | 1,456,362 | |
| 計 | 25,417,162 | |

* 新型コロナウイルス感染症の影響などにより、事業計画を見直すことがあります。

| 令和4年度 特別会計予算 | | |
|--------------|------------|------------------------|
| (卒業記念事業積立金) | | |
| 項 目 | 決 算 額 | 備 考 |
| 積立金 | 2,200,000 | 入学生440人×5,000円（一般会計より） |
| 入 繰越金 | 8,451,094 | |
| 計 | 10,651,094 | |
| 支 事業費 | 2,250,000 | 学生への記念品 他 |
| 支 卒業記念事業積立金 | 8,401,094 | |
| 出 計 | 10,651,094 | |
| (記念事業等積立金) | | |
| 項 目 | 決 算 額 | 備 考 |
| 積立金 | 2,000,000 | 一般会計より |
| 收 他会計繰入金 | 3,000,000 | 目的積立（学生・大学支援事業積立） |
| 入 繰越金 | 20,582,196 | |
| 計 | 25,582,196 | |
| 支 事業費 | 16,500,000 | 25周年記念事業費用（バス購入支援等） |
| 支 事務費 | 100,000 | 終身会員の集い |
| 支 記念事業等積立金 | 8,982,196 | |
| 計 | 25,582,196 | |

令和3年度事業・決算報告

| 令和3年度 事業報告 | |
|------------|---|
| 内 容 | |
| 総会 | 4月18日(日)大和キャンパス講堂にて開催 令和2年度事業及び決算報告、令和3年度事業計画及び予算、会則改正について議案のとおり可決されました。 |
| 理事会 *1 | 理事会6回 |
| 特別委員会 *1 | 会長副会長会議 6回 |
| 学生会活動助成 *2 | 記念事業検討委員会 4回 サークル（高額備品・経常活動費の助成） |
| 支援事業 *3 | 資格取得奨励金支給 進路対策事業支援 留学生住宅総合補償金一部助成 |
| 入学記念事業 | 新入生へ記念品（校章ピンバッジ）配付 |
| 卒業記念事業 | 卒業生（学群生）へ記念品（漫透印とクオカード）贈呈 卒業生から大学へソファと電子レンジの寄贈に助成 |
| 主催事業 | MYUサポーターズデイ（動画配信） 有森裕子氏講演会を開催 |
| 終身会員の集い *4 | 中止 |
| 会報発行 | 第57号・第58号 |

| 令和3年度 一般会計決算 | | |
|--------------|------------|--------------|
| 項 目 | 予算額 | 備 考 |
| 収 会費 | 18,100,000 | 新入生・終身会員 |
| 入 雑収入 | 0 | |
| 入 繰越金 | 10,304,211 | |
| 計 | 28,404,211 | |
| 支 事務費 | 2,610,812 | 人件費、通信費等 |
| 支 会議費 | 402,044 | 理事会費用弁償費等 |
| 支 事業費 | 7,143,213 | 進路対策費等 |
| 支 入学記念事業費 | 380,980 | 校章ピンバッジ |
| 支 卒業記念積立金 | 2,250,000 | 卒業生記念品 |
| 支 記念事業等積立金 | 8,000,000 | 学生・大学支援の積立含む |
| 支 予備費 | 0 | |
| 計 | 20,787,049 | |

*1：新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業の企画・運営を行いました。
*2：学生会活動については、感染症拡大防止のため活動制限や大学祭の縮小（大和）や中止（太白）となり、例年通りの支援が行えませんでした。
*3：支援事業については、例年通りの助成を行いました。
*4：新型コロナウイルス感染防止のため中止いたしました。

| 令和3年度 特別会計決算 | | |
|--------------|------------|----------------------------|
| (卒業記念事業積立金) | | |
| 項 目 | 予算額 | 備 考 |
| 積立金 | 2,250,000 | 入学生450人×5,000円（一般会計より） |
| 入 繰越金 | 8,237,074 | |
| 計 | 10,487,074 | |
| 支 事業費 | 2,035,980 | 学生への記念品 |
| 支 卒業記念事業積立金 | 8,451,094 | |
| 出 計 | 10,487,074 | |
| (記念事業等積立金) | | |
| 項 目 | 予算額 | 備 考 |
| 積立金 | 8,000,000 | 一般会計より（目的積立：学生・大学支援6百万円含む） |
| 入 繰越金 | 12,601,852 | |
| 計 | 20,601,852 | |
| 支 事業費 | 0 | |
| 支 事務費 | 19,656 | 通信費（終身会員の集い 中止のお知らせ） |
| 支 記念事業等積立金 | 20,582,196 | |
| 計 | 20,601,852 | |

令和4年度宮城大学入学式

令和4年4月3日、令和4年度宮城大学入学式が大和キャンパス講堂にて行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、式典の参加は新入生と来賓のみとし、学群・研究科により時間帯を分けた2部構成で実施されました。式典の様子は、来場できないご家族向けにインターネットで同時配信されました。

今年度の入学生は、看護学群102名、事業構想学群210名、食産業学群138名、看護学研究科9名、事業構想学研究科11名、食産業学研究科18名の計488名です。

式辞において川上伸昭学長は、本学の理念である「ホスピタリティとアメニティ」やSDGsの概念に触れながら、今年度から始まる学群生の新カリキュラムにおいて、挑戦をする精神であるアントレプレナーシップと、地域と世界の双方に通じるグローバルな視点の育成を充実しようとしていることを述べました。

また、新型コロナウイルス感染症の蔓延により制限されていた海外への渡航を含む国際プログラムについて、行き来が可能になる段階で拡充していくよう準備を進めていることを述べ、「皆さん世界に目を向けて、活き活きと交流する姿に期待をしています」とメッセージを送りました。

学務課学生支援グループ



令和4年度 入学記念事業

大学のシンボルマークを
模った校章バッジを
新入生へ贈りました。



令和4年度入学 宮城大学入学者選抜試験実施状況

| 学 群 | 募集 人員 | 実質競 争倍率 | 入學 者数 | 入学者詳細 | | | | |
|---------|----------|------------|----------|-------|-----|-----|-----|-----|
| | | | | 性 別 | | 出身校 | | |
| | | | | 男 | 女 | 県内 | 県外 | その他 |
| 看 護 | 95 | 2.5 | 102 | 7 | 95 | 71 | 31 | 0 |
| 事 業 構 想 | 200 | 2.4 | 210 | 93 | 117 | 147 | 62 | 1 |
| 食 産 業 | 125 | 2.4 | 138 | 39 | 99 | 69 | 68 | 1 |
| 合 計 | 420 | 2.4 | 450 | 139 | 311 | 287 | 161 | 2 |

※出身校は、卒業高校等所在地で分類（外国人留学生はその他に分類）

令和4年度入学 宮城大学大学院入学者選抜試験実施状況

| 研 究 科 | 募集 人員 | 実質競 争倍率 | 入學 者数 | 入学者詳細 | |
|----------------|----------|------------|----------|-------|----|
| | | | | 性 別 | 男 |
| 看護学研究科博士前期課程 | 10 | 1.5 | 8 | 0 | 8 |
| 看護学研究科博士後期課程 | 3 | 1.0 | 1 | 0 | 1 |
| 事業構想学研究科博士前期課程 | 20 | 1.0 | 8 | 7 | 1 |
| 事業構想学研究科博士後期課程 | 3 | 1.0 | 3 | 3 | 0 |
| 食産業学研究科博士前期課程 | 13 | 1.0 | 17 | 7 | 10 |
| 食産業学研究科博士後期課程 | 3 | 1.0 | 1 | 1 | 0 |
| 合計 | 52 | 1.1 | 38 | 18 | 20 |

新入生交流事業「コンボケーションデイ」春

誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現を目指して

令和4年4月15日（金）、新入生437名が桜の景色が美しい仙台国際センターに集合し、春のコンボケーションデイが行われました。

コンボケーションデイとは、2つのキャンパス、異なる3学群に所属する新入生が交流する、春と秋に開催される企画です。所属学群の枠を超えて交流することで宮城大学生としての一体感を高めることを目的としています。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として2年間開催が見送られていましたが、今年は感染予防対策を十分施し実施しました。

今回のコンボケーションデイでは、異なる3学群に所属する学生が共通に話し合えるテーマとして「SDGs」を選びました。SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない（leave no one behind）」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。



3学群混成のグループを編成し、SDGsへの理解を深める3つの体験型コン

テンツに取り組むことで、“SDGs各目標の内容”、“各目標が相互に関連したものであること”について理解を深めるとともに、SDGsの学びを通じたチームビルディングを図り、宮城大学生としての一体感を養いました。

当日は、会場を3つのブロックに分け、グループごとに3つのコンテンツをローテーションで体験しました。

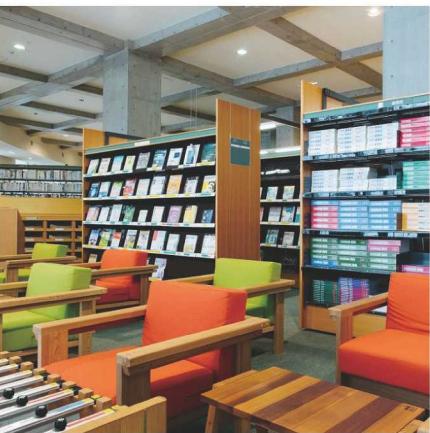
各コンテンツの体験をとおして、学生たちはSDGsへの関心を向上させ、SDGsの17のゴールをより身近なものとして理解するとともに、異なる学群に所属していても宮城大学生としてのお互いの距離の近さを感じられたようで、3つ目のコンテンツを行う頃には大変和やかな盛り上がりを見せっていました。

参加した学生にとって、入学して間もない時期の楽しい体験になったと思います。

秋のコンボケーションデイでは、より多くの他学群の学生と交流できるプログラムを実施したいと考えています。

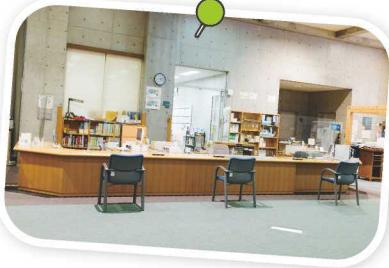


学務課学生支援グループ



宮城大学には2つのキャンパスそれぞれに図書館が設置されています。キャンパスによって専門分野が異なることから、キャンパスごとにその専門性に沿った資料の収集を重点的に行っています。蔵書数は、大和キャンパス図書館が約13万冊、太白キャンパス図書館は約7万1千冊です。(令和4年3月末現在)

図書館というと本好きの人たちが静かに本を読むための場所と思われているかもしれません。たしかにそういう側面もありますが、大学図書



館は、情報を収集したり発信する場所であつたり、好奇心や新しい発見を生み出す場所でもあります。

図書館の活動を少しご紹介いたしますと、学生の皆さんを必要な情報へナビゲートするため、

2017年に図書館ポータルサイトをリニューアル、2018年には4つのコモンズ

がオープンし、図書館もディスカバリーライブンズとして、よりアクティブで主体的な学びの場を提供できるようになりました。



2021年3月に「宮城大学研究ジャーナル」を創刊し、宮城大学学術機関リポジトリによってインターネット上で公開しています。この学術機関リポジトリも図書館によって管理・運営されており、本学

学術情報センターは、

開催し、たくさんの方々にご参加いただきました。ここ数年はコロナのためイベント等はできませんでしたが、ビデオオンドマンドによるレポートの書き方講座を行ったり、2022年4月からは新しい試みとしてポッドキャスト番組「MyULP」の配信を始めています。

現在は、17時までの開館でサービスにも制限があり、通常の状態には戻せていません。ご不便をおかけしていることを心苦しく思いつつも、コロナで閉館が続いている間に比べたら、学生さんがいるだけで書架の本たちが活き活きとうれしそうに見えるのは気のせいでしょうか。そういえば、最近、私語や飲食をする学生さんを見かけなくなり、利用マナーが向上していると感じます。

もしかすると、コロナによる「けがの功名」の皆さんは、さまざまな場面で自分に合った形で、図書館に親しく思っています。

図書館は、資料の収集・提供以外にも大学の調査研究・学習の基盤として、そしてまた知的好奇心を生み出す場所としての取り組みを続けています。学生の皆さんには、さまざまなかもしれません。

事務局学務課学術情報室
学術情報グループ
安藤美保

の専門性に沿った資料の収集を重点的に行っています。蔵書数は、大和キャンパス図書館が約13万冊、太白キャンパス図書館は約7万1千冊です。(令和4年3月末現在)

図書館を所管する

学術情報センターは、

2021年3月に「宮城

大学研究ジャーナル」を

創刊し、宮城大学学術

機関リポジトリによつ

てインターネット上で

公開しています。この

学術機関リポジトリも

図書館によって管理・

運営されており、本学

学びの力と好奇心 応援しています！

の研究成果を広く発信するための一翼を担っています。

また、2014

年から行っています。

利用促進事業「六限の図書館」では、トーナメントや上映会、ワークショップ等を

クイズや上映会、ワーク

ショップ等を

開催し、たくさんの方々にご参加いただきました。ここ数年はコロ

ナのためイベント等はできません

でした。ビデオオンドマンドによるレポートの書き方講座を行つたり、2022年4月からは新しい試みとしてポッドキャスト番組「MyULP」の配信を始めています。



ゆう先生の分岐点(上)

猫からもらった研究テーマ

毎年9～10月は多くの研究者たちが頭を悩ませる時期である。科研費の申請締切が迫るこの時期になると、我々研究者たちは次年度から行う研究テーマや研究計画を具体化し、研究費の獲得に向けて申請書に書き認める。申請締切が数日後と迫る2015年10月13日深夜1時の私は、自宅のiMacの画面いっぱいに映る真っ白な申請書を見つめながら申請内容について考え込んでいた。

当時1歳の飼い猫は規則正しい生活を送っており、夜ごはんを食べ終えるとすぐに私のベッドで寝始めるが、私が遅くまで仕事をしている日は起きてきて眠そうな顔をしながら私の隣で仕事が終わるのを待っていた。その日も深夜まで響くマウスのカチカチというクリック音に引き寄せられて、パソコンの前から動かない私のところにやってきた。猫はキーボードの隣に香箱座りをして静かにこちらを見つめていたが、パソコンの方を見るや否や画面に釘付けになってしまった。真っ白な画面上を動くマウスポインタの黒い矢印の虜になっていたのである。これを見た瞬間、私は自分自身が研究者として進むべき一筋の道が見えた想いであった。次々と浮かんでくる研究アイデアや展望を頭の中で整理しながら早くメモを書



真っ白な申請書の上で動くマウスポインタで遊ぶめるちゃん



紙袋の中へぐめるちゃん



マウスを持つ鈴木先生の手の上で寝るめるちゃん

事業構想学群准教授 鈴木 優

き残したい気持ちを抑え、マウスポインタと夢中で遊ぶ猫にしばらく付き合った。

私の専門分野はヒューマンコンピュータインタラクションといい、人がコンピュータを使用する行為に関するあらゆる事象を扱う学際的な領域である。宮城大学に着任した2013年から数年間は大学生の時代から取り組んできた入出力デバイスに関するテーマを中心に研究を行ってきたが、2015年10月以降は私の研究の主軸は動物とのインタラクションへと徐々にシフトしていき、今では研究の中心は動物に置き換わっている。今年度採択された科研費も動物に関するテーマであり、猫には頭が上がらない。

研究テーマをくれた猫は今では8歳となった。このコラムの原稿を執筆している今も変わらず眠そうな顔をしながら隣で香箱座りをしている。

鈴木 優

1984年生まれ。岡山県出身。2011年筑波大学大学院システム情報工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。京都産業大学コンピュータ理工学部を経て、2013年より宮城大学に助教として着任。2018年より現職。

糸

No.28

第3回 後援会終身会員の集いを終えて

終身会員の集い実行委員会副代表 松澤 晶子

在校生、卒業生、教職員など、さまざまな立場で宮城大学に関わっている方から寄せられた思いでつなぐ「糸」。今回はお子様が在学中は後援会理事を務められ、終身会員の集い発起人のおひとりでもある松澤晶子さんです。終身会員の集い開催報告とその会への思いをお寄せていただきました。

7月2日、SS30の28階にある会場にて、「第3回終身会員の集い」が開催された。とても暑い日だったにもかかわらず、川上学長、大学関係者の方々及び後援会の方々等に足を運んで頂いた。この会も例外にねず、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2年間開催を見送ることになり、やっとここに第3回目を開催することができた。

会場からは仙台市が一望できることもあり、久しぶりに爽やかな明るい会となつた。

昨今、戦争や経済低迷、感染症等の暗いニュースが多い中、少し新しい風が吹き込まれた気分である。

先日、宮城大学の大和キャンパスを訪問して、新しく増設されたデザイン研究棟を見学させていただいた。学生にとっても大変有意義な使い方のできる場所だと感じた。

今、若い人たちの働き方が我々の時代とはずいぶん変わっている。個人の働き方からチームでの働き方に変化しつつある。そういう意味ではチームでの研究や起業・企業の在り方が見直される時代であり、デザイン研究棟もその一つのように思われた。

学生を援助するだけではなく、子供が卒業して数年経った今でも後援会を通して、大学の現況や普段お会いする機会が少ないので親御さんたちともお会いできて話を聞けることはたいへん意味のある会と聞いている。

後援会終身会員は、宮城大学を卒業してから若者達のフォローやアドバイスなど何か力になればと思いつつ、そしてこれからもこの会が継続し、皆さまの良き交流の場となることを願っている。



令和3年度 宮城大学卒業証書・学位記授与式

令和4年3月19日、令和3年度宮城大学卒業証書・学位記授与式が大和キャンパス講堂にて行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、式典の参加は卒業生・修了生と来賓のみとし、学群・研究科により時間帯を分けた2部構成で実施されました。式典の様子は、来場できないご家族向けに、インターネットで同時配信されました。また初の試みとしてAR(拡張現実)卒業記念看板も活用されました。

例年とは異なる状況の中、学部・学群の卒業生424名を含む、459名が卒業・修了を迎えました。

式辞において、川上伸昭学長より「ますます情報化が進展していく社会にあって、社会を作っていく地球市民として、今以上にふたつの『そぞう(想像・創造)』する力を意識し、発揮することで、活躍されんことを願っています。」とエールが送られ、「宮城大学とのつながりはこれで切れるものではありません。」として、卒業・修了後も大学が寄り添い、必要な時に支援をしていきたいとメッセージが送されました。

学務課学生支援グループ



令和3年度 卒業記念事業

卒業生へ記念品(浸透印とクオカード)を贈呈いたしました。



卒業生から在学生(大学)に思いを込めて記念品が寄贈され、後援会はその費用を助成いたしました。



至福(温かい食)のひとときのための電子レンジ(太白、5台)

池を眺めながら一人読書ができるソファ(大和、2脚)

令和3年度 卒業生の進路(主な進路実績)

看護学群

看護学類

●就職先一例 (順不同)

[看護師]

東北大病院、東北医科薬科大学病院、仙台市立病院、宮城県立こども病院、国立病院機構仙台医療センター、国立病院機構仙台西多賀病院、JCHO仙台病院、石巻赤十字病院、仙台厚生病院、イムス明理会仙台総合病院、仙台オーブン病院、仙台赤十字病院、松田病院、石巻口イマノ病院、自治医科大学附属病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、順天堂大学医学部附属順天堂医院、昭和大学江東豊洲病院、聖路加国際大学聖路加国際病院、東京医科歯科大学病院、東京大学医学部附属病院、奈良県立医科大学附属病院、山形大学医学部附属病院、岩手県立病院、川崎市立川崎病院、国立がん研究センター中央病院、国立国際医療研究センター病院、国立成育医療研究センター、国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院、横浜旭中央総合病院、上尾中央総合病院

[保健師]

宮城県、仙台市、大和町、大崎市、角田市、気仙沼市、白石市、小田原市(神奈川県)、郡山市(福島県)、多摩市(東京都)

[養護教諭]

宮城県、仙台市、秋田県、山形県、宮城教育大学附属学校園

●進学先一例 (順不同)

宮城大学大学院看護学研究科、聖路加国際大学大学院看護学研究科、仙台医療センター附属仙台看護助産学校

事業構想学群

事業プランニング学類

●就職先一例 (順不同)

トランスクスモス(株)、東北博報堂(株)、(株)東北新社、(株)ドコモCS東北、東日本NSソリューションズ(株)、バーソルプロセス&テクノロジー(株)、イオンリテール(株)、三井食品(株)、カメイ(株)、(株)ヨークペニマル、(株)ツルハ、(株)パルコ、(株)七十七銀行、東京海上日動火災保険(株)、損害保険ジャパン(株)、日本生命保険(相)、アイソフヤマ(株)、東芝ライテック(株)、ゼリア新薬工業(株)、合同製鐵(株)、積水ハウス(株)、東鉄工業(株)、太平電業(株)、大林道路(株)、国土交通省東北地方整備局、宮城県、名取市、(株)マクロミル、東洋ワーク(株)、さきがけ税理士法人、(株)NEXTスタッフサービス、(株)イーストン、(株)ケアリツ・アンド・パートナーズ、東北電力(株)、イオンモール(株)

●進学先一例 (順不同)

新潟大学大学院現代社会文化研究科

地域創生学類

●就職先一例 (順不同)

SCKS Minoriソリューションズ(株)、トランスクスモス(株)、(株)日立ソリューションズ東日本、東北放送(株)、サイバーコム(株)、データコム(株)、東京システムハウス(株)、(株)マクロミル、JR東日本東北総合サービス(株)、エン・ジャパン(株)、(株)KDDIエボルバ、(公)宮城県医師会、カメイ(株)、イオン東北(株)、藤崎、国土交通省東北運輸局、国税庁仙台国税局、宮城県、福島県、仙台市、東京海上日動火災保険(株)、住友生命保険(相)、日新火災海上保険(株)、積水ハウス(株)、日本住宅(株)、(株)大昇物流、(株)インターレイズ、大星ビル管理(株)、アリスオーヤマ(株)、(株)ケアリツ・アンド・パートナーズ

価値創造デザイン学類

●就職先一例 (順不同)

(株)日立ソリューションズ東日本、(株)ドコモCS東北、三菱総研DCS(株)、(株)博報堂プロダクツ、(株)メンバーズ、サイバーコム(株)、清水建設(株)、大和ハウス工業(株)、住友林業(株)、(株)北洲、(株)一条工務店宮城、(株)阿部和工務店、イオンリテール(株)、(株)ネクステージ、(株)チップワンストップ、凸版印刷(株)、(株)タニカ、東北紙工(株)、(株)テクノ東北、(株)スクールブルミック、(株)七十七銀行、日本生命保険(相)、明治安田生命保険(相)、TOHOシネマズ(株)、宮城県商工会連合会、宮城県警察本部、(株)星野リゾート・マネジメント

●進学先一例 (順不同)

宮城大学大学院事業構想学研究科

食産業学群

食資源開発学類

●就職先一例 (順不同)

青葉化成(株)、国分東北(株)、(株)日本アクセス、日本アクセス北海道(株)、(株)薬王堂、(株)やまや、伊藤ハムデイリー(株)、キユーピー(株)、プレミアムウォーター(株)、全国農業協同組合連合会栃木県本部、全国農業協同組合連合会長野県本部、全国農業協同組合連合会宮城県本部、全国農業協同組合連合会山形県本部、みやぎ生活協同組合、農林水産省、秋田県、福島県、宮城県、柏崎市、(株)ユニアーサル園芸社、(株)アウトソーシングテクノロジー、(株)渡辺採種場、(株)七十七銀行、全農物流(株)、(株)ケアリツ・アンド・パートナーズ

●進学先一覧 (順不同)

宮城大学大学院食産業学研究科、北海道大学大学院農学院、静岡大学大学院総合科学技術研究科

フードマネジメント学類

●就職先一例 (順不同)

アリスオーヤマ(株)、伊藤ハムデイリー(株)、岩下食品(株)、キーコーヒー(株)、チヤス(株)、日東ベスト(株)、日本食研ホールディングス(株)、フジフーズ(株)、フジサングループ本社(株)、ボンカサッポロフード&ビバレッジ(株)、イオン東北(株)、カメイ(株)、国分東北(株)、(株)日本アクセス、東日本フード(株)、(株)ファミリーマート、いわて生活協同組合、全国農業協同組合連合会宮城県本部、みやぎ生活協同組合、日本マクドナルド(株)、(株)宮城県農協情報センター、(株)江東微生物研究所、(株)七十七銀行、丸紅ロジスティクス(株)、こころネット(株)、(株)チャレンジドジャパン、農林水産省

●進学先一覧 (順不同)

宮城大学大学院食産業学研究科、信州大学大学院総合理工学研究科農学専攻

令和3年度学生表彰

在学中に研究活動、課外活動、社会活動、学業に顕著な成果をおさめた学生が表彰されました。

学長奨励賞

一研究活動において、顕著な成果をあげたものー

- ヨウ レイナ(看護学群 4年)
- 秋山 唯華(看護学群 4年)
- 先崎 桃乃(看護学群 4年)
基礎研究の成果をThe Journal of Veterinary Medical Scienceで発表
- 佐藤 夏海(食産業学群 4年)
日本応用藻類学会第19回年会において学生優秀賞を受賞

一課外活動において、顕著な成果をあげたものー

- 事業構想学群 宮城大学コミュニケーション・プランナープログラム(フードロス班)(任意団体)
大高 鳩人・棚橋 葵・長谷 りりこ・村上 瑛菜・山本 知宙(事業構想学群 4年)、種橋 美和(事業構想学群 3年)
「仙台若者アワード2021」にて優秀賞を受賞
- 事業構想学群価値創造デザイン学類 チームA(任意団体)
石山 花梨・伊藤 華乃・及川 詩織・金谷 佳樹・佐藤 志保里(事業構想学群 3年)
「第5回大学生CSVビジネスアイデアコンテスト」にて本選進出

一小澤 知夏(事業構想学群 2年)

- ICTビジネス研究会による“Challenge Future Award東北ビジネスデザイン発見＆発表会2020-2021”において女性起業家賞を受賞

一社会活動において、顕著な成果をあげたものー

- 田中 亜里紗(看護学群 4年)
大和警察署協議会委員として警察署の運営・地域の防犯意識改善に貢献

一その他の活動において、顕著な成果をあげたものー

- 齋藤 淳一(事業構想学研究科 2年)
一般社団法人事業承継サポートみやぎの設立及び代表理事として、事業継承を題材にした書籍の刊行及び実践と研究による社会貢献
- 食産業学研究科・食産業学群 石川研究室
桑原 明(食産業学研究科 2年)・佐藤 伶音(食産業学研究科 1年)
黒井 夏音・駒木根 岚純・佐藤 瑞穂・丹野 志音・羽賀 麗(食産業学群 4年)、方 楊(食産業学群 3年)

東京大学大学院農学生命科学研究科One Earth Guardians育成プログラムの学生らと「学生たちが描く未来の食 プロジェクト」を実施

- 食産業学群 宮城大学×藤崎 お歳暮プロジェクト
阿部 友里伽(食産業学群 3年)・小野寺 香苗・齋藤 真里奈・佐々木 ひより・佐藤 奈穂・佐藤 紀愛・菅原 野・菅原 里奈・曾根 咲桜・高畠 美・新妻 希美・蛭田 ひかり(食産業学群 1年)
「宮城大学×藤崎 お歳暮プロジェクト」を実施し、新商品を開発

成績優秀者表彰

一学業において、特に顕著な成績を修めたものー

- 前田 菜摘(看護学類 4年)
- 庄子 優花(事業プランニング学類 4年)
- 田中 純華(地域創生学類 4年)
- 小関 克也(価値創造デザイン学類 4年)
- 徳間 日菜(食資源開発学類 4年)
- 加藤 陽菜子(フードマネジメント学類 4年)

表彰された皆様、おめでとうございました。

※学年は、令和3年度の学年で掲載しております

教員からの一言

生物生産学類誕生

食産業学群生物生産学類長 中村 茂雄

2022年4月の全学的なカリキュラム改編に伴い、食産業学群に生物生産学類が誕生しました。特徴は、フードシステムの川上である“生物生産”を多角的、そして柔軟に学ぶカリキュラムで、幅広い分野の科目を自由度高く履修できます。生物生産学類には、生産ビジネス系、植物生産系、動物生産系、水圏生物生産系、生産環境情報系、バイオサイエンス系科目が配置されており、それぞれの分野を深めるだけでなく相互に連携して学びやすくなっています。例えば、農作物の品種改良に興味がある学生は、バイオテクノロジーを学ぶバイオサイエンス系科目と作物や野菜の栽培管理を学ぶ植物生産系科目を履修しますが、さらに流通・販売などを学ぶ生産ビジネス系科目も履修すると、品種改良の理論から生産物の販売までに必要な知識を修得することができます。また、生産ビジネス系科目に加えて植物生産・動物生産・水圏生物生産系科目などを履修すれば、幅広い食品のバイヤーの素養となる知識を得ることができます。このように、異分野をタテにもヨコにも広げて履修できるため、将来の仕事を思い描きながら学ぶことができます。

総合型選抜と特別選抜（外国人留学生入試）では学類を決めて入学しますが、学校推薦型選抜、一般選抜で入学した新入生は、入学後に1年間をかけて進む学類を決めます。食産業学群は2学類制ですので、生物生産学類かフードマネジメント学類のどちらかを選ぶことになります。入学後間もない4月に第1回目の希望予備調査がありましたが、これから専門基礎科目を学び、各学類の教員や上級生と接しながら各学類の特徴を理解し、最終的に志望する学類を届け出ます。学類には定員がありますので、どちらの学類に配属されるかは、本人の希望に1年次の成績等を加味して決定されます。将来に夢を抱く学生たちが、新しいカリキュラムで学修し、多くの教職員や学生と交流することで、将来の仕事や自分の進む道を考えてくれたらよいと思っています。卒業後の進路としては、民間企業や公務員への就職の他に進学もあります。食産業学群では、着実に大学院進学者が増えています。大学院では多くの友と切磋琢磨して学びを深め、より専門的な知識と技術を身につけて社会で活躍してくれることを期待しています。



▲昆虫養殖に取り組む中村学類長

令和4年度主催事業
「講演会」開催のご案内

令和4年10月1日（土）「NPO法人 地球のステージ」代表理事の桑山紀彦氏をお招きし開催いたします。申込方法につきましては、同封のご案内をご覧ください。

編集後記

3年ぶりのMYUサポーターズデイでは、はじめてキャンパス内をご覧になった方がほとんどではなかっただろうか。参加出来てよかったですとお言葉をいただきました。この写真は大和キャンパス本部棟のかたちをしている手すりです。手すり以外にもこのかたちがキャンパス内にありますので見つけに来てみませんか。

令和4年度MYU
キャンパスカレンダー

令和4年

4月

3日（日）入学式

8日（金）前期授業開始

15日（金）新入生コンボケーションデイ（春）

16日（土）後援会総会

5月

1日（土）開学記念日

6月

18日（土）後援会主催事業 MYUサポーターズデイ（大和）

25日（土）後援会主催事業 MYUサポーターズデイ（太白）

7月

2日（土）後援会第3回終身会員の集い（仙台市内）

8月

6日（土）夏季休業（大和～9/19、太白～9/25）

12日（金）教職員夏季休暇（～8/18）

9月

12日（月）入試日（大学院一期）

15日（木）卒業式・学位記授与式（9月卒業分）

20日（火）後期授業開始（大和）

26日（月）後期授業開始（太白）

10月

1日（土）後援会主催事業 桑山紀彦講演会

1日（土）大和キャンパス大学祭 ～10/2

16日（日）入試日（総合型選抜1次）

29日（土）新入生コンボケーションデイ（秋）

11月

5日（土）太白キャンパス大学祭

12日（土）入試日（総合型選抜2次～11/13）

12月

3日（土）入試日（帰國子女・社会人・外国人留学生）

24日（土）冬季休業（～1/4）

29日（木）教職員冬季休業（～1/3）

令和5年

1月

14日（土）大学入学共通テスト（～1/15）

21日（土）入試日（大学院二次・二期）

2月

5日（日）入試日（学校推薦型選抜）

25日（土）入試日（一般選抜前期～2/26）

3月

12日（日）入試日（一般選抜後期～3/13）

20日（月）卒業式・学位記授与式

上記スケジュールは8月1日時点の情報です。

| お問い合わせ先 | 大和キャンパス (看護・事業構想) | 太白キャンパス (食産業) |
|---------------------|------------------------|---------------------|
| 教務関係 [カリキュラム・シラバス等] | kyoumu@myu.ac.jp | f-kyoumu@myu.ac.jp |
| 学生生活関係 | gakusei@myu.ac.jp | f-gakusei@myu.ac.jp |
| キャリア開発室 [就職関係] | careerdev@myu.ac.jp | f-career@myu.ac.jp |
| 後援会事務局 | myu_kouenkai@myu.ac.jp | |

お問い合わせの際は、ご子女の「お名前」「所属学群」「学籍番号」もあわせてお知らせください。

